

MS60801IP

Prime Number Interleaver IP Module (Verilog-HDL)

■ 概要

MS60801IP は 3GPP に準拠した素数インターリーバ IP モジュールです。時系列的にリニアにアドレス格納する入力データを保存する DPRAM のインターリーブした後のリードアドレスを生成します。

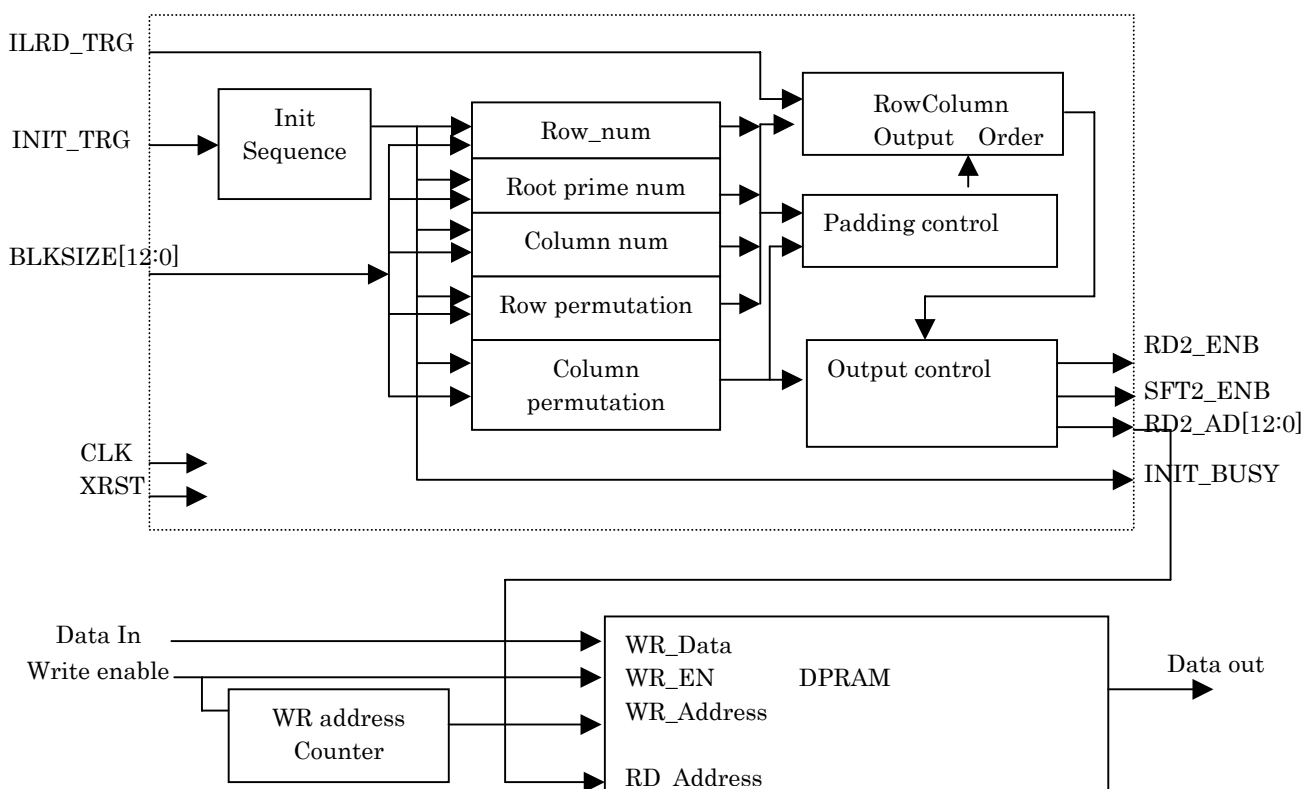
■ 特長

- 3GPP TS 25.212 V7.3.0 に準拠
- 入力信号 : CLK, XRST, BLKSIZE[12:0], INIT_TRG, ILRD_TRG
- INIT_BUSY 端子により内部回路の初期化中を通知
- INIT_TRG 信号により初期化演算開始
- ILRD_TRG 信号によりインターリーブアドレス出力開始
- 出力信号 : INIT_BUSY, RD2_AD[12:0], RD2_ENB, SFT2_ENB

■ 入出力信号

信号名	I/O	極性	信号説明
CLK	I	P	Clock
XRST	I	L	Reset Signal Input Low Active
INIT_TRG	I	H	Initialize Start Trigger Signal Input
ILRD_TRG	I	H	Interleaver Read Start Trigger Signal Input
BLKSIZE[12:0]	I	H	Block Size (K number) Input ($40 \leq K \leq 5114$)
INIT_BUSY	O	H	Initialize Sequence Busy Signal Output
RD2_AD[12:0]	O	H	Interleaver Data RAM Read Address output
RD2_ENB	O	H	Read Enable Signal Output
SFT2_ENB	O	H	3 Clock Delay Signal after RD2_ENB

■ ブロック図



* 点線内が本 IP のブロック図です。点線外は外部回路を構成する必要があります。

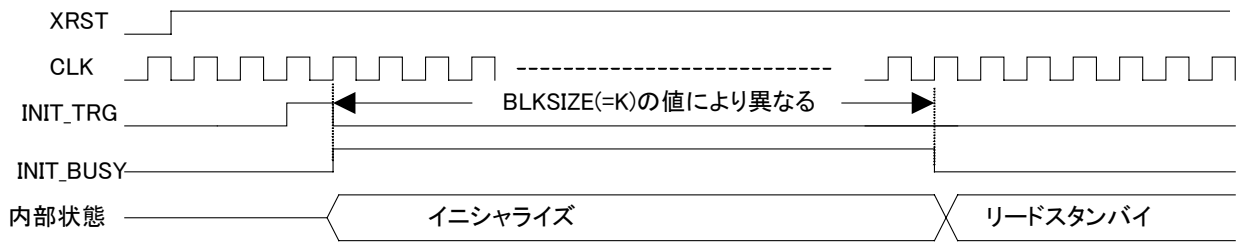
■ 動作説明

インターリーブに入力されるデータは入力されるビット系列の大きさによって行列の大きさが決定される行列に、順次ビット系列として入力される。入力されたビット系列は素数インターリーブ法により行列の順序を入れ替えて出力される。

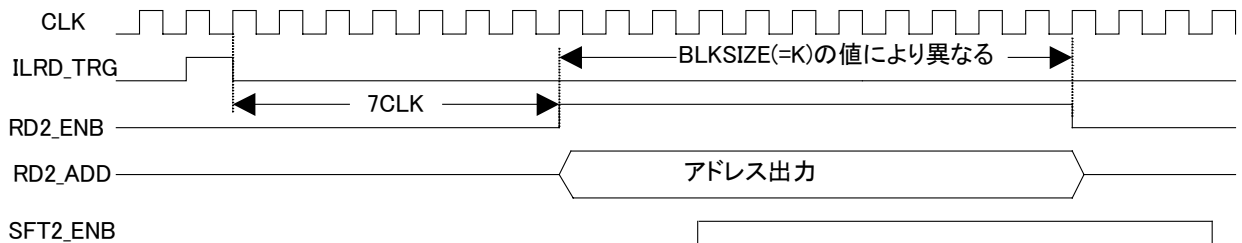
- 1) INIT_TRG が入力されると BLKSIZE(K) 及び内部テーブルデータをもとに以下を算出する初期化処理を行う。
 - ・ 使用する行列の行数 (R)
 - ・ 使用する素数 (p)
 - ・ 使用する基底数 (v)
 - ・ 使用する行列の列数 (C)
 - ・ 行内の基準配列 (s)
- 2) 内部回路が上記の算出状態にある期間 INIT_BUSY 信号に High を出力する。
- 3) 初期化処理が終了するとインターリーブ後のリードアドレス出カスタンバイ状態となり、この状態で ILRD_TRG 信号が入力されるとリードアドレス出力が開始される。
- 4) 初期化で求めた値及び内部テーブルを使用してデータ出力行列を想定してインターリーブ後の出力アドレスを出力する。

■ タイムチャート

1) イニシャライズ



2) アドレス出力



■ インターリーブ処理の詳細

1. 入力ビットシーケンスの行列への入力

ビットシーケンス $x_1, x_2, x_3, \dots, x_K$ が以下で示される行列に入力される。

(1) 行列の行数 R は以下の式で決められる。

$$R = \begin{cases} 5, & \text{if } (40 \leq K \leq 159) \\ 10, & \text{if } ((160 \leq K \leq 200) \text{ or } (481 \leq K \leq 530)) \\ 20, & \text{if } (K = \text{any other value}) \end{cases}$$

行は上から下に $0, 1, \dots, R - 1$ とナンバリングされる。

(2) p を求める。

以下の特殊条件のときは一義的に下式となる。

if $(481 \leq K \leq 530)$ then

$$p = 53 \text{ and } C = p.$$

そのほかのときは最小の素数 p を Table 1 から以下の式で探す。

$$K \leq R \times (p + 1),$$

求めた p から以下の式で列数 C を求める。

$$C = \begin{cases} p - 1 & \text{if } K \leq R \times (p - 1) \\ p & \text{if } R \times (p - 1) < K \leq R \times p \\ p + 1 & \text{if } R \times p < K \end{cases}$$

列は左から右に $0, 1, \dots, C - 1$ とナンバリングされる。

(3) ビットシーケンス $x_1, x_2, x_3, \dots, x_K$ を上記 $R \times C$ の行列に以下のように入れる。:

・ 入力行列

$$\begin{pmatrix} x_1 & x_2 & \dots & x_C \\ x_{(C+1)} & \dots & \dots & x_{2C} \\ \vdots & & & \\ x_{((R-1)C+1)} & \dots & \dots & x_{R \times C} \end{pmatrix}$$

なお、 $R \times C > K$ のときは $K+1$ 番目以降 ($k = K+1, K+2, \dots, R \times C$) のデータはダミービットでパディングされる。なお、ダミービットは出力されるときに取り除く。

Table1: 素数 p とそれに関する初期値 v のテーブル

p	v	p	v	p	v	p	v	p	v
7	3	47	5	101	2	157	5	223	3
11	2	53	2	103	5	163	2	227	2
13	2	59	2	107	2	167	5	229	6
17	3	61	2	109	6	173	2	233	3
19	2	67	2	113	3	179	2	239	7
23	5	71	7	127	3	181	2	241	7
29	2	73	5	131	2	191	19	251	6
31	3	79	3	137	3	193	5	257	3
37	2	83	2	139	2	197	2		
41	6	89	3	149	2	199	3		
43	3	97	5	151	6	211	2		

2. 行内及び行間の順列

$R \times C$ の行列に入力ビットシーケンスが格納された後に以下の (1) ~ (6) のステップのアルゴリズムで行内、行間の順序付けが実行される。

(1) Table 1 から計算された p に相当する基底数 v を選択する。

(2) 行内の順列として以下のように基準配列 $\langle s(j) \rangle_{j \in \{0,1,\dots,p-2\}}$ を構成する。

$$s(j) = (v \times s(j-1)) \bmod p, \quad j = 1, 2, \dots, (p-2), \text{ and } s(0) = 1.$$

mod はモジュロを表す。(mod7 は "7" を法とする演算、すなわち 7 で割り算をした余りに相当する。)

(3) 最初の素数を $q_0 = 1$ として $\langle q_i \rangle_{i \in \{0,1,\dots,R-1\}}$ の素数シーケンスを q_i と $p-1$ の最大公約数が 1 かつ $q_i > 6$, かつ $q_i > q_{(i-1)}$

として $i = 1, 2, \dots, R-1$ について求める。

(4) 上記で計算された $\langle q_i \rangle_{i \in \{0,1,\dots,R-1\}}$ を使用して以下の式により $\langle r_i \rangle_{i \in \{0,1,\dots,R-1\}}$ を求める。

$$r_{T(i)} = q_i, \quad i = 0, 1, \dots, R-1,$$

ここで $\langle T(i) \rangle_{i \in \{0,1,\dots,R-1\}}$ は入力された K の値により Table 2 により決定される。

Table 2: インターリーブの行間の順列

Number of input bits K	Number of rows R	Inter-row permutation patterns $\langle T(0), T(1), \dots, T(R-1) \rangle$
$(40 \leq K \leq 159)$	5	$\langle 4, 3, 2, 1, 0 \rangle$
$(160 \leq K \leq 200)$ or $(481 \leq K \leq 530)$	10	$\langle 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1, 0 \rangle$
$(2281 \leq K \leq 2480)$ or $(3161 \leq K \leq 3210)$	20	$\langle 19, 9, 14, 4, 0, 2, 5, 7, 12, 18, 16, 13, 17, 15, 3, 1, 6, 11, 8, 10 \rangle$
$K = \text{any other value}$	20	$\langle 19, 9, 14, 4, 0, 2, 5, 7, 12, 18, 10, 8, 13, 17, 3, 1, 16, 6, 15, 11 \rangle$

(5) 行が $i = 0, 1, \dots, R-1$ のときの行内の j 番目の順列は

*もし ($C = p$) のときは

$$U_i(j) = s((j \times r_i) \bmod (p-1)), \quad j = 0, 1, \dots, (p-2), \text{ and } U_i(p-1) = 0,$$

ここで $U_i(j)$ はもとの j 列 i 行のビット位置を示す。

* ($C = p+1$) のときは

$$U_i(j) = s((j \times r_i) \bmod (p-1)), \quad j = 0, 1, \dots, (p-2). \quad U_i(p-1) = 0, \text{ and } U_i(p) = p,$$

となる。但し、もし ($K = R \times C$) となるときは $U_{R-1}(p)$ と $U_{R-1}(0)$ を交換する。

* ($C = p-1$) のときは

$$U_i(j) = s((j \times r_i) \bmod (p-1)) - 1, \quad j = 0, 1, \dots, (p-2),$$

となる。

(6) 行間の順列を Table 2 に示す $\langle T(i) \rangle_{i \in \{0,1,\dots,R-1\}}$ により行う。

ここで $T(i)$ は元の j 番目の行を表す。

3. 行列からのビットデータ出力

上記で変更された行列を下图に y'_k として示すようにナンバリングしてナンバリングの順番に従って出力する。

$$\begin{bmatrix} y'_1 & y'_{(R+1)} & y'_{(2R+1)} & \cdots & y'_{((C-1)R+1)} \\ y'_2 & y'_{(R+2)} & y'_{(2R+2)} & \cdots & y'_{((C-1)R+2)} \\ \vdots & \vdots & \vdots & \cdots & \vdots \\ y'_R & y'_{2R} & y'_{3R} & \cdots & y'_{C \times R} \end{bmatrix}$$

但し入力データ行列でパディングされたビットは出力時に取り除いて出力する。従ってパディングされたビットが存在するときには取り除かれるビット数は $R \times C - K$ となる。

参考

- [1] 3GPP TS 25.212 V7.3.0 (2006-12) 3rd Generation Partnership Project; Technical Specification Group
Radio Access Network; Multiplexing and channel coding(FDD)(Release 7)

- 1.本書に記載された内容につきましては、改善のため予告なしに変更することがあります。
- 2.本書に記載された情報や図面等の使用に起因した等三者の所有する工業所有権およびその他の権利侵害に対し当社はその責任を負うものではありません。
- 3.本書に記載された内容を当社に無断で転載または複製することは、ご遠慮下さい。
- 4.本書に記載された製品は「外国為替及び外国貿易管理法」に基づく戦略物質等に該当します。従って本製品を輸出する場合は、同法に基づく許可が必要となります。

〒407-0014 山梨県韮崎市富士見 3-16-37

TEL 0551-23-0575

FAX 0551-23-0576

<http://www.megasys.co.jp/>

© 2008 Mega-Sys Co., Ltd.